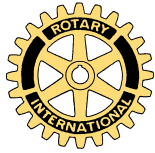


## THE ROTARY CLUB OF KARIYA



Weekly



創立 1954年 3月 8日  
承認 1954年 3月 30日

例会日時 毎週月曜日  
12:30 ~ 13:30  
例会場 刈谷市新栄町 3 の 26  
刈谷商工会議所内  
事務所 TEL (0566) 22-2111  
FAX (0566) 25-2111  
メール kariyarc@katch.ne.jp  
ホームページ http://www.kariya-rotary.com  
会長 嶋津孝久  
幹事 野村紀代彦  
会報委員長 横山宜幸

2012 ~ 2013年度 国際ロータリー 田中作次 会長テーマ

Peace Through Service 奉仕を通じて 平和を

この会報は、地球環境保全に考慮し再生紙を使用しています。

## 第2793回例会プログラム

[当年度=27回目; 当月=4週目]

2013年(平成25年) 2月25日(月)

## 1. 例会……………〈司会: プログラム委員会〉

- 12:28 1. チャイム  
12:30 2. 点鐘……〈会長〉  
3. 開会宣言  
4. ロータリーソング斉唱……日も風も星も  
5. 講師・ゲスト並びにビジター紹介  
6. 食事  
12:45 7. 会長挨拶並びに会長報告  
8. 新入会員挨拶……まさの牧野 けんいち 健一 会員  
9. 幹事報告  
10. 出席報告  
11. 委員会報告  
12. ニコニコボックス報告  
13. 次週並びに次々週のプログラムの予告  
(3/4) ……創立記念例会  
卓話 「創立60周年について」  
講師 60周年実行委員会  
(3/11) ……  
卓話 「商事・民事・一般」  
講師 井上剛法律事務所  
弁護士 井上 剛 様

(紹介者 兵藤 文男 会員)

## 2. クラブフォーラム……………〈国際奉仕委員会〉

- 13:00 卓話 「タイ・チェンライ(刈谷の森)植林活動報告」  
講師 国際奉仕委員会委員長 廣根 実 会員  
14. 謝辞  
15. 点鐘……〈会長〉  
16. 閉会宣言  
13:30 17. 散会

## 出席

会員総数 94名 出席免除 28名  
出席義務者+免除者の内例会出席者 90名  
欠席 3名 出席率 96.67%  
前々回(2/4)の修正出席率 100%

## 会長報告

- 1) 次年度地区出向される方の委嘱状が届いております。
- 2) 2月23日に2月度ゴルフ例会が豊田CCにて行なわれ、グロス91、ネット74で坂茂会員が優勝されました。
- 3) 2月18日(月)刈谷市緑化推進協議会に出席してきました。2月19日(火)刈谷市交通安全推進協議会に、水越副会長に出席して頂きました。
- 4) 米山奨学生のトゥリン・ティン・ダット君に奨学金をお渡しします。

## 幹事報告

- 1) 本日、牧野健一さんが入会されましたので会員数は94名になりました。牧野さんには会場委員会に配属して頂きます。
- 2) 次年度用のロータリー手帳をご希望の方は、名簿を回しますのでよろしくお願ひします。ちなみに費用はかかりません。
- 3) 本日例会終了後、第9回理事会を行いますので、ご関係の方は事務局にお集り下さい。

## 会長あいさつ

## 牛久大仏の話

嶋津 孝久



まず、大仏と言えば「奈良の大仏」・「鎌倉の大仏」が有名ですが、大仏と呼ばれる物はどのくらいあるのでしょうか？ 古くは飛鳥時代から平成の作まで、全国にざっと300体ほどあります。愛知県だけでも、東海市の「聚楽園大仏(18.8m)」・西尾市の「刈宿の大仏(14m)」・江南市の「布袋大仏(18m)」と3体もあります。

では、大仏とは何でしょうか？ 大きな仏像です。ではどのくらいの大きさでしょうか？

仏教の一般的な定義では、立像で一丈六尺(約4.8m)・座像ならその半分の2.4m以上の仏像を大仏としています。これは「お釈迦様」の身長が一丈六尺であったと伝えられております。つまり、大仏とは「お釈迦様」の等

(1)

身大の肖像彫刻なのです。とは言っても、千葉県鎌ヶ谷市にある「鎌ヶ谷大仏」の様に1.8mでも地元の信仰を集め、「大仏さん」と親しまれています。思うに大仏とは、BIG（巨大）な仏ではなく、GREAT（偉大）な仏様なのではないでしょうか。

さて21世紀に入って、この大仏様の世界に「巨大仏」というジャンルができました。最近では「巨大仏」と言う写真集まで出ています。これは宮田珠己という人が、「晴れた日には巨大仏を見に」と言う本を出しました。この中で巨大仏と言う言葉を初めて使い、その定義として40m以上の仏像としました。この40mには特に理由はなく、ウルトラマンの身長が40mなので、それ以上はなくっちゃんと言う個人的なものでした。それが、いつのまにか一般に（一部マニアだけか？）認知され、「巨大仏」と言われるようになっていきます。

ここでやっと「牛久大仏」です。

茨城県牛久市にあり、浄土真宗東本願寺派の霊園である、「牛久浄苑」の中であって、霊園に墓参りに来る人々のために作られたそうです。全高120m（像高100m・台座20m）の阿弥陀如来で、東本願寺の本尊を写したものです。この大きさは、「奈良の大仏（14.9m）」が掌に乗り、ニューヨークの自由の女神の3倍の高さがあります。ギネスブックには「世界最大のブロンズ製の仏像」として登録されています。ただし、現在ではミャンマーには全高129.5m（像高116m・台座13.5m）のレイチュン・セツチャー大仏があるそうです。

この大仏様は胎内に入れるようになっていきます。まずエレベーターに乗ると照明が消され、阿弥陀様の説明が流れます。真っ暗の中でエレベーターに乗っていると、上がっているのか下がっているのか感覚がなくなって、不安になります。2階で降りると真っ暗な中に大きな香台があり、天井から真っ直ぐにスポットライトが当たっていました。横には光ファイバーで作った波みたいなオブジェがあり、ファンタジックな空間でした。

あとは、納骨堂とか写経室のフロアとかがあり、最上階は資料展示室と展望台でした。

展望台はわずかな隙間から覗くので、見晴らしはよくなかったです。資料展示の中で面白かったのは、大仏様の足の親指の原寸大モデルと、建設過程の写真パネルでした。足指のモデルと並ぶとこの大仏様のとんでもない大きさが実感できます。また写真パネルでお顔がクレーンで釣り上げられるところや、地上に置かれた腕とかは強烈なインパクトでした。



役職名 刈谷支店 支店長  
所属委員会 会場委員会



### クラブフォーラム

### 「タイ・チェンライ（刈谷の森）植林活動報告」

廣根 実 会員



・今月はロータリーの“世界理解月間”ということで、我が刈谷クラブが進めていますタイでの植林活動、いわゆる“刈谷の森づくりプロジェクト”の活動状況を報告させていただきます。

- ・時間に余裕がありますので最初に“趣味別職業別親睦活動”を紹介いたします。
- ・この活動がどんな活動かという、文字通り世界中の同じ趣味や職業の同士が集まって、交流し親睦を深め合うという、まさにロータリーの世界親睦活動です。
- ・仕組みはどうかと言いますと、各親睦活動グループはRI理事会で承認を受けたのちRIとは独立して運用され、夫々独自の規程、会費、管理体制で運営されるそうです。
- ・また各親睦活動グループは、3カ国以上の会員基盤を維持しなければならないそうです。
- ・またよく分からない場合は、地区のロータリー親睦活動委員長に連絡すれば、教えてもらえるそうです。
- ・もちろんWCSなどで途上国を支援する活動も素晴らしい事ですが、こうして世界中のロータリアンと共に楽しむことも、ロータリーの醍醐味ではないでしょうか。
- ・本題に入ります。“刈谷の森”はタイの北部、メコン河を挟んで対岸はラオスという国境沿いの村にあります。
- ・面積は5ha、約5,000坪、この東京ドーム4個分の広さの荒地に、チーク材を植えて森を作ろうというプロジェクトです。
- ・活動期間は2010年度から13年度までの4年間、現在約3.5haの植林が完了したようです。
- ・このプロジェクトの背景を少しお話ししたいと思います。
- ・刈谷の森づくりは、公益財団法人オイスカが推進している植林活動の一部を、我々刈谷RCが支援するものです。
- ・オイスカは皆さんご存知のように、国際的に農業開発協力、環境保全、人材育成等を行なっている非営利組織ですが、最近では“農業を育てるにはまず環境を整えよう”との方針で植林活動に力を入れています。

### 新入会員紹介

氏名 牧野 健一  
生年月日 昭和41年3月26日（46歳）  
推薦者 石川 覚雄 会員  
職業分類 証券業  
事業所名 東海東京証券株式会社

- ・特にオイスカタイではこういったビジョンや目的を定め、このような実績をあげています。
- ・とりわけ我々が共感を覚えたのは、“ただ木を植えても、こういったことで残らない！ 大切なことは、地域住民を巻き込んで植林活動をする事”、つまり、“心に木を植えるんだ！”というポリシーでした。
- ・こうして2010年からタイ最北部チェンライ県チェンコーン郡の村で、刈谷の森づくりプロジェクトがスタートしました。
- ・初年度は岡本巧リーダー、当時の太田宗一郎会長以下、6人の精鋭が現地へ出向き村の人たちと一緒に、苗を植える作業に汗を流しました。
- ・もちろん植林作業の膨大な全工程からすれば、ほんのちょっとだけのお手伝いです。
- ・『いっそのこと、旅費や宿泊費のお金をそのままプロジェクトに回せば、もっと役に立つのでは？』といった声もあります。
- ・しかし現地のオイスカスタッフの方は力強くこう語っていました。
- ・『皆さんの訪タイはお金以上の価値があります、①日タイの友好親善、②村人や子供達のモチベーションの向上、③村人や子供達の責任感の増大、④日本人へのより印象的な啓蒙等々さまざまな相乗効果があります』
- ・2年目は初年度と同じく大した作業はしていませんが、前にオイスカスタッフの語った“お金以上の価値”をあらためて実感する、こんなエピソードを聞きました。
- ・『植林に来た日本人を受け入れて来た或る村があった、小さな貧しい村だったが、1日で200パーツしか稼げない植林作業を、みんな作業可能な日は朝から夕方まで頑張って続けた、そしてある時期からそのうちの10パーツを植林貯金として貯金を始めた、それから2ヶ月後に日本で東日本大震災が起こった、その時までに彼らには1人400パーツが貯まっていた、彼らには決して少ない金額ではあったが「貯金を全部、日本の皆さんへ差し上げて下さい」と村人全員が貯金を残らず寄付してくれた』そうです。
- ・小さな草の根レベルですが、これが本当の意味での国際協力ではないでしょうか？ 草の根で支援しながらお互いの絆を深める、本当の意義ではないでしょうか？
- ・2012年は初めて女性もメンバーに加わり、ツアーも大いに和むと共に、村の人達にも“なでしこ JAPAN が来たぞ！”という感じで、大変な人気でした。
- ・さっそく刈谷の森へ行くと、近くの学校から校長先生や生徒さんが50～60人歓迎の出迎えをしてくれました。
- ・作業場では村の人たちが迎えてくれました、岡本リーダーから日本から持って行ったタオルや色鉛筆をプレゼントさせてもらい、とても喜んでもらいました。
- ・次に最初に出迎えてくれた校長先生や生徒さん達の待つ近くの学校へ行って、みんなで植樹をしました。
- ・こうして刈谷の森づくりプロジェクトもあと1年を残す段階となりましたが、このプロジェクトの完了後は、こうした成果が期待されます…刈谷の森の再生…地域住民への意識改革…そして先ほど説明した様々な相乗効果でした。

## 第9回理事会

- I 会長挨拶 〈会長〉
- II 議 題
  - 1. 3・4月のプログラム(案)について 〈クラブ奉仕委員長〉〈プログラム委員長〉
  - 2. 花見例会について 〈親睦活動委員長〉
  - 3. 新入会員について 〈幹事〉
  - 4. その他
- III 会場監督の所見

## 刈谷 RC 2 月度ゴルフ例会

平成25年2月23日(土)

於：豊田カントリー倶楽部

成績	氏名	G	H	N
優勝	坂 茂	91	17	74
2 位	大参 富昭	96	18	78
3 位	神谷 強	90	12	78
B B	野村紀代彦	127	25	102

